



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

## 自宅から目的地へ 予約型乗り合いタクシー

日本共産党日野市議団 福岡県八女市視察報告

八女市は福岡から南へ50キロのところ、市町村合併により面積は482Km<sup>2</sup>と、日野市の約17.5倍になりました。森林が約65%を占め、高齢化は全国平均を大きく上回る34%に上ります。市内に鉄道はなく、路線バスが主要な交通手段ですが、

それも朝夕に限られるなど、日常生活を支えるための公共交通が求められていました。

市町村合併前は各町村が患者輸送車、福祉バスなどを運行していましたが、合併を機に予約型乗り合いタクシー「ふる里タクシー」統一されました。

### 市内 11 区域を 1 時間に 1 便運行、料金は 300 円

ふる里タクシーは市内11区を朝8時から16時まで、1時間に1便(12時~13時は休み)運行しています。

料金は1区域内300円、隣の区域までは400円。路線バスを維持するため、隣接する区域よりもさらに遠くへ行く場合は、路線バスを利用することになっています。

利用者はまず、名前、住所、年齢、携帯電話番号、自宅周辺の道路の状況などを事前登録します。

そして、利用したい便の30分前までに予約センターに電話で申し込みをします(朝8時の便は前日4時半まで)。

予約センターは、4人の担当者が順次、便ごとの利用者の乗降場所を入力していきます。

運転手さんは、予約センターからの連絡をもとに、利用者宅を順番に廻り、病院やスーパー等、それぞれの目的地に順番に送り届けます。

帰りは、通院や買い物が終わったところで利用者が予約センターに電話し、帰りの便の予約を入れます。運転手さんはそれぞれの場所で利用者を乗せ、それぞれの自宅に送り届けます。

朝、整形外科で降り、昼過ぎにその近くの生協店舗から帰るといいうパターンが多いそうです。



## 利用者の約 8 割が 70～80 代 80%が「便利になった」

八女市のふる里タクシーの登録者は、人口の21%に上り、山間部の旧矢部村地域では57.2%の方が登録しています。登録者のうちの800～1000人が定期的に利用しています。

利用者の約49%が80代、約32%が70代と、70～80代の方がほとんどを占

めています。

乗降場所で一番多いのは医療福祉施設、次いで多いのが商業施設です。

H22年の実証実験の翌年に行った利用者アンケートでは、80%の方が「暮らしが便利になった」と回答、38%の方が「外出の機会が増えた」と回答しています。

## 九州北部豪雨災害でも休まず運行

H24年の九州北部豪雨災害の際には、道路が寸断され路線バスは運行ができなくなりました。しかし、ふる里タクシーは迂回路を使って送迎をするなど、一日も休まずに運行しました。

### 広報やめ2012年9月1日号で紹介された ふる里タクシー利用者の声

一人暮らしで、黒木町中心の病院や買い物によく利用しています。娘たちも遠くに嫁ぎ、用事を頻繁に頼めないで、ふる里タクシーは私の生活の支えになっています。

今回の大災害で、途中の国道が通れず困っていた時も、迂回路を2時間かけて送迎していただきました。この山奥では、ふる里タクシーがなかったら生活ができないため、本当に助かっています。

## バス停まで行くのが大変な方の足として

日野市でも高齢化が進みバス停まで行くのも大変な方が増えています。

こうした方々にとって、玄関前まで迎えに来てくれて、目的地でおろしてくれる予

約型乗り合いタクシーは、有効です。

八女市のような山間部ではない日野のまちで、どのようにしたら活かしていくことができるか、検討していきたいと思います。

## 畑だより・・・

7月に植えたゴーヤに小さな実がつき始めました

写真左はゴーヤの花  
雄花と雌花があって  
雌花に実がなります  
写真は雄花

